



市内小学生による読み語り

## 蔵書数は約12万冊に！

### 市立図書館30周年記念事業

6月30日、市文化センターで、市立図書館開館30周年を記念した事業が開催されました。

記念事業では、親と子の読書会会員の市内小学生18人が「にゃーご」の読み語りを元気よく行い、また「おとうさんはウルトラマン」などの作品で知られる絵本作家のみやにしたつや氏による講演会が行われました。

講演に訪れた来場者は、作品と同様、優しさと思いやりにあふれた話に聴き入っていました。

30周年という節目を迎え、関係者一同は、今後も親しまれる図書館づくりをめざし、思いを新たにしました。

## 犯罪や非行のない明るい社会に

### 弁論発表と教育講演会

7月19日、市文化センターで保護司、人権擁護委員、学校教育・社会教育関係者が出席して「第62回社会を明るくする運動」大川推進大会及び平成24年度大川市青少年育成市民大会が開催されました。

大会では、筑後地区青少年弁論大会への出場を決めた市内の中学生4人と大川樟風高校生1人が日常生活の中で感じたことや戦争についてなど自身の思いをを熱く語りました。

また、不登校の児童生徒の相談を受けている小田哲也氏による講演が行われ、ひとりひとりの個性を重視する必要性が語られました。



自身の思いを語る出場者



## 柳川の高齢者宅で土砂搬出 九州北部豪雨復旧支援



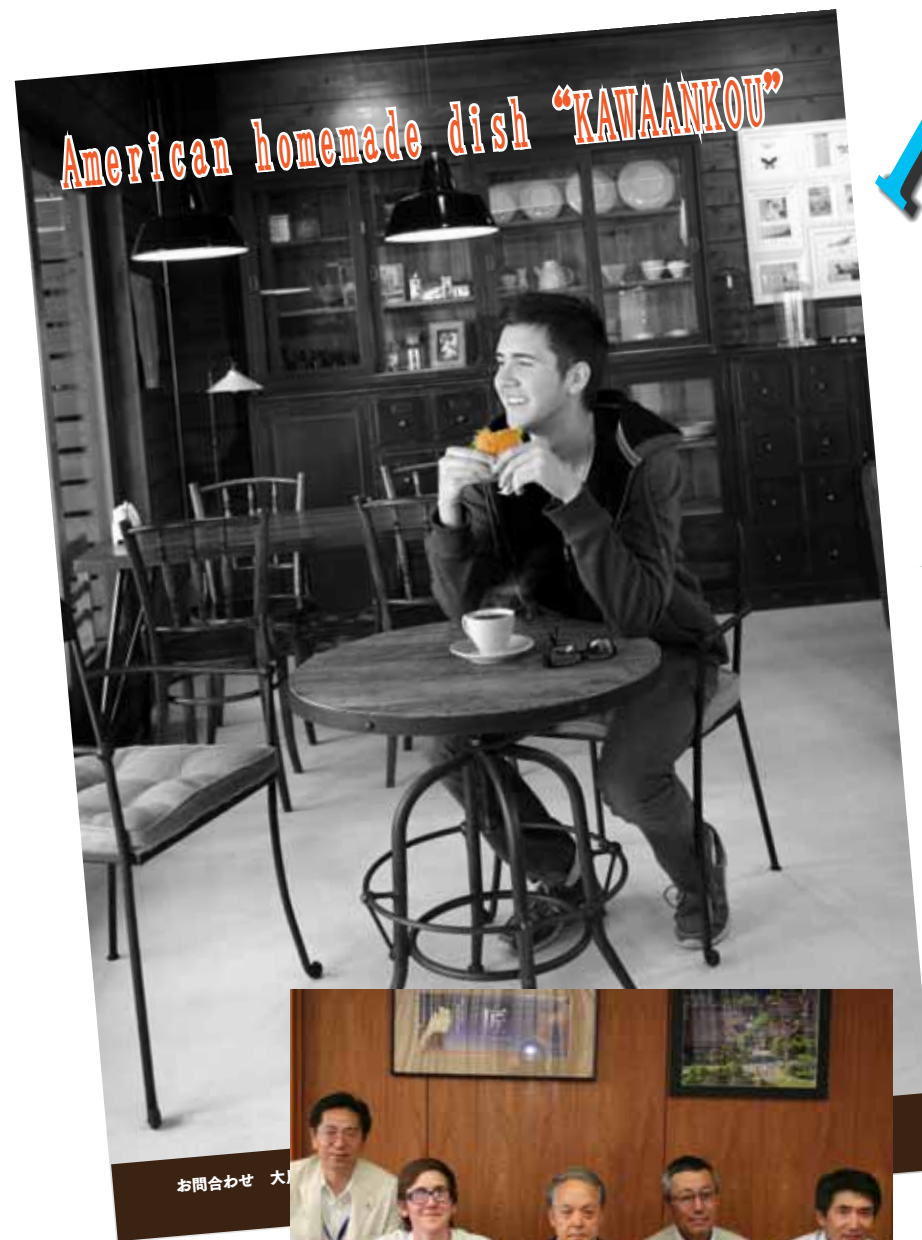
派遣職員を激励する植木市長

7月18日から20日までの3日間、大川市は14日の豪雨で被災した柳川市に延べ30人の市職員を派遣し、支援活動を行いました。

大川市が作業した場所は、決壊した堤防のすぐ近くに建つ高齢者宅で、倉庫にたまった土砂をスコップで取り除く作業などを行いました。

倉庫は大きなものではありませんでしたが、厚くたまった土砂を取り除くのに、10人でまる1日かかるほどでした。

倉庫の壁には腰の高さに浸水の跡が残り、豪雨の被害の大きさを物語っていました。



お問合わせ 大川

# Flash Back

～最近の出来事から～

## 川アンコウのPRにも一役！

### 交換留学生の帰国あいさつ

7月20日、大川ロータリークラブの交換留学生のジョナサン・ギャレットさんが帰国のあいさつに植木市長を訪問しました。

ギャレットさんは、アメリカノースカロライナ州出身。昨年8月下旬に来日し、1年間、大川で過ごしました。留学中には大川の名物料理の川アンコウバーガーのチラシのモデルを務め、大川の観光PRにも協力してもらいました。

大川は静かなまちで好きだったというギャレットさんに、市長は「また大川に来てください」とあいさつしました。

写真上段＝川アンコウバーガーのチラシ  
下段＝あいさつに訪れた交換留学生と大川ロータリークラブのみなさん

## 差別のない社会をつくるため

### 同和問題啓発強調月間

7月2日、市内2か所で差別のない社会づくりをめざし、街頭啓発が行われました。

当日は、人権擁護委員会を中心に、ゆめタウン大川、江頭エーザイ幡保店で、道行く人たちに「あやゆる差別をなくしましょう」と呼びかけながら、福岡県が開催する人権講演会や人権講座を周知するチラシと啓発グッズを配布しました。

大川市は、差別のない社会づくりをめざし、様々な施策に取り組んでいます。市民のみなさん、笑顔が絶えないまちづくりを目指しましょう。



差別のない社会づくりを呼びかける植木市長